

南るもい農業情報広場（畑作）

留萌農業改良普及センター南留萌支所

TEL：(0164)42-8493 FAX：(0164)42-4079

<https://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/a0003/b0032/>



秋まき小麦 眼紋病の防除

眼紋病は5月の平均気温が低い年や、連作・短期輪作のほ場で多発しやすい病気です。多発しなければ被害は発生しません

前年に眼紋病が発生し小麦が倒伏したなど、被害が予想されるほ場では薬剤防除を検討しましょう。

※幼穂形成期（作況平年値5月2日）から節間伸長前期までの2～3週間が防除の目安です。

※薬剤が地際まで届くよう使用液量・ブーム高さを調整しましょう。

表 小麦眼紋病の防除薬剤例

農薬の名称	系統名	希釈倍数(倍)	使用液量(L/10a)	使用方法	使用時期(収穫前日数)	本剤の使用回数
ファンタジスタ顆粒水和剤	Qol	2,000	60 ~150	散布	14日前まで	3回以内
カンタスドライフロアブル	SDHI	1,500			45日前まで	2回以内

●止葉期の赤さび病防除にミリオネアフロアブルやイントレックスフロアブルなどのSDHI剤を散布予定の場合、眼紋病防除にはファンタジスタ顆粒水和剤を使用しましょう（同系統薬剤の連用回避）。

●下記薬剤に対する耐性菌、感受性低下菌が確認されているため、薬剤の選択には注意してください。

（トップジンM水和剤・ユニックス顆粒水和剤47・チルト乳剤25）

機械作業を中断するときは必ずエンジンを停止し、巻き込まれ事故を防ぎましょう